

令和8年度 第1回

大阪府立狭山池博物館運営審議会

参考資料
（来館者アンケート結果）

令和8年7月16日

【参考】博物館アンケート結果

満足度（質的）の成果

■【参考】狭山池博物館全体における満足度(質的)の評価

⇒R4～R7における満足度の平均値(1～4)は**76%**であり、**目標値の75%を達成**

～アンケートにて出た主な意見～

○館の雰囲気

(+)静かでゆっくり見学ができた

(+)館内が綺麗

○展示内容

(+)映像を使った解説がわかりやすい/スタンプラリーが楽しい

(-)外国人向けの説明が欲しい/子供向けのワークショップを増やしてほしい

○スタッフの対応

(+)博物館ボランティアの説明が丁寧でわかりやすい

(-)スタッフの車いす利用者への対応が良くない/電話対応が残念

○館の施設・設備

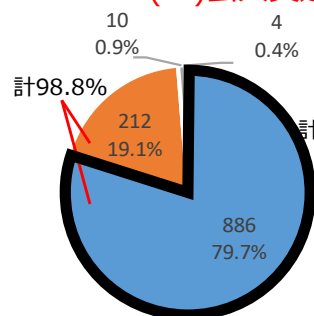
(+)建物や滝が綺麗

(-)雑草の除去や滝付近の外壁の掃除など建物や滝の手入れが必要/入口がわかりにくい

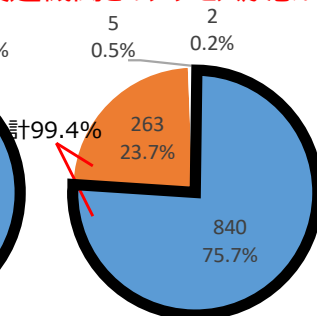
○交通の便

(-)駐車場や、駐車場から博物館までのルートがわかりにくい

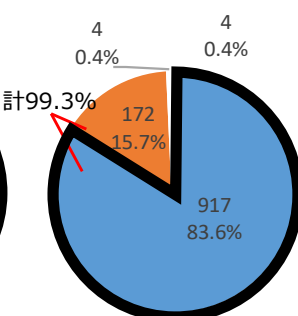
(-)公共交通機関とのアクセスが悪い



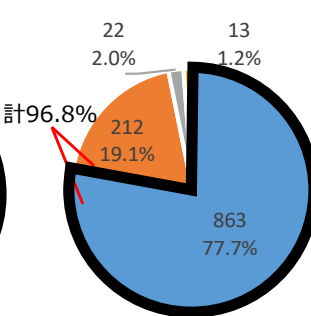
▲1.館の雰囲気



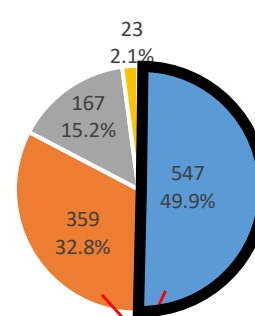
▲2.展示内容



▲3.スタッフの対応



▲4.館の施設・設備



▲5.交通の便

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

■ 満足
■ どちらかという満足
■ どちらかという不満
■ 不満

R7来館者アンケート結果より
(回収数1144件)

【参考】博物館アンケート結果

満足度（質的）の成果

■【参考】取組の柱ごとの満足度（質的）の評価

⇒満足度の平均値は、土木の歴史的価値の継承が70.7%、土木事業・技術の歴史「知」の交流発信拠点が72.6%、地域魅力創造が85.3%であった。（それぞれの目標値は70%、80%、80%）

～アンケートにて出た主な意見～

○土木の歴史的価値の継承

(+) 興味深く、勉強になった

(-) 展示物が少ない/専門用語の説明やわかりやすい図表が欲しい

⇒理解が進むような展示や補足資料等を充実させていく必要あり

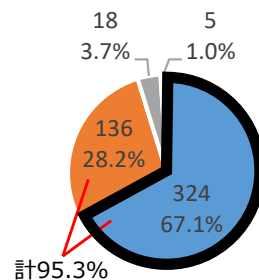
○土木事業・技術の歴史「知」の交流発信拠点

(+) パネルが見やすく内容も分かりやすかった

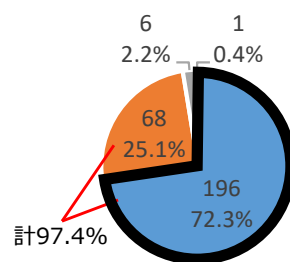
(-) 展示品や説明パネルの量が少ない/より多くの解説が欲しい

○地域魅力創造

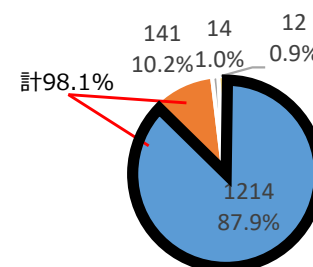
(-) 展示を増やしてほしい/ガイドによる体験価値や時間の差が大きい



▲土木の歴史的価値の継承



▲土木事業・技術の歴史「知」の交流発信拠点



▲地域魅力創造

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

■ 満足
■ どちらかといえば満足
■ どちらかといえば不満
■ 不満

R4～7評価対象イベント
アンケート結果より

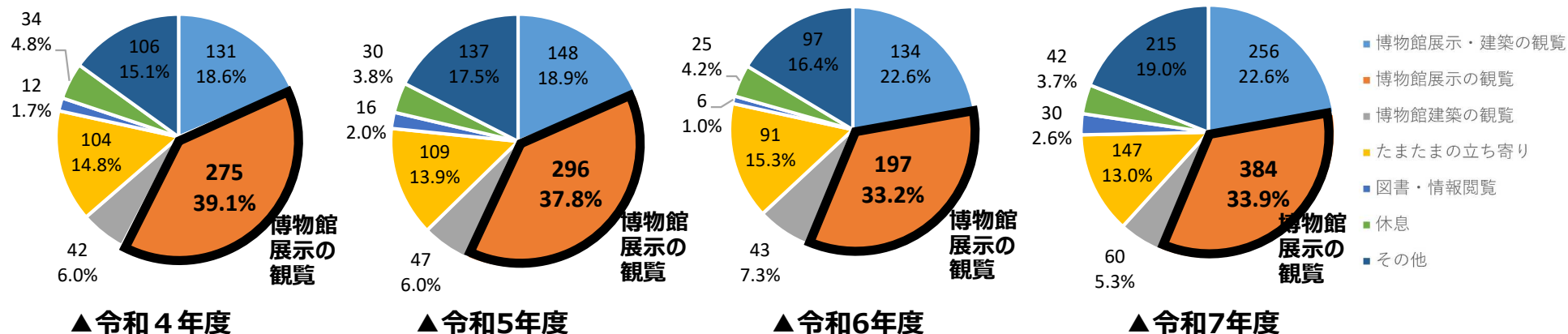
【参考】博物館アンケート結果

■【参考】狭山池博物館全体におけるアンケート調査項目の年度別比較

【来館目的】

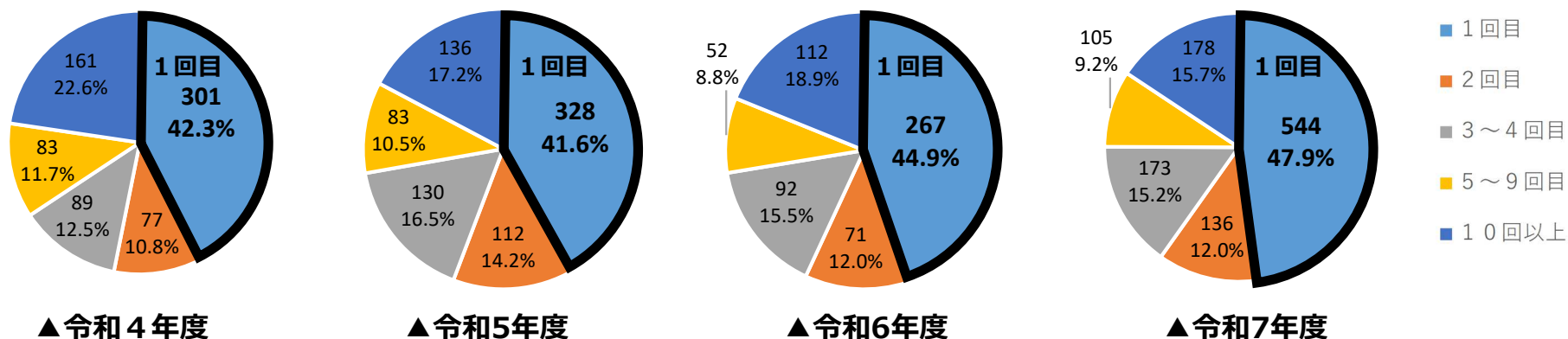
- ・来館目的は、**博物館展示の観覧が最も多く、3～4割**を占めている。
- ・年度による差異はあまり見られない。

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合



【来館頻度】（再掲）

- ・来館頻度は、**初めて（1回目）が約4～5割**となっており、年々初めての来館者の割合が増加傾向にある。



【参考】博物館アンケート結果

■【参考】狭山池博物館全体におけるアンケート調査項目の年度別比較

【どこから来たか（居住地）】

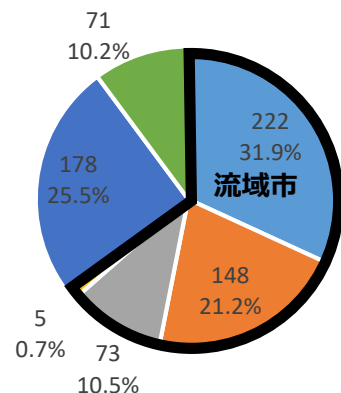
- ・令和4年時点では**流域市**の割合が6割以上であったが、年々減少し令和7年は半数を下回っている。
- ・流域市外や府外（海外含む）に居住する来館者への認知が進んでいるといえる。

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

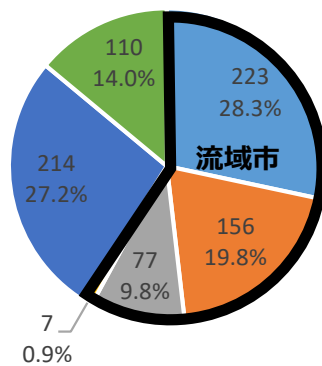
※流域市



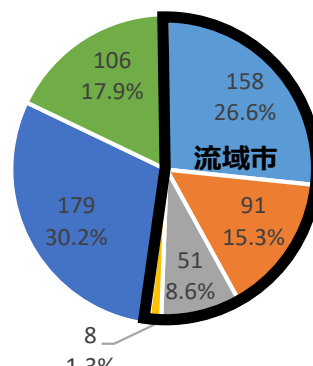
■ 府内その他
■ 府外



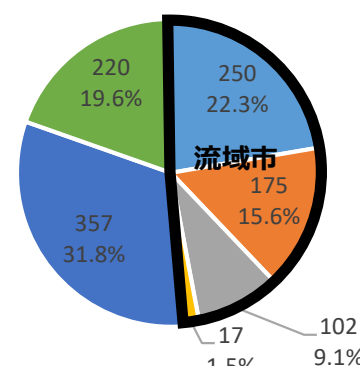
▲令和4年度



▲令和5年度



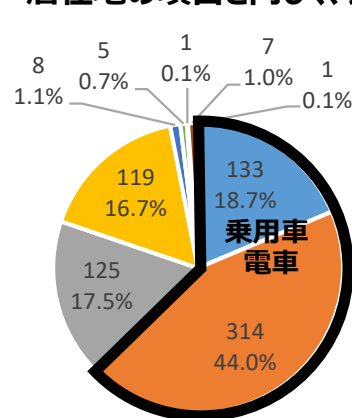
▲令和6年度



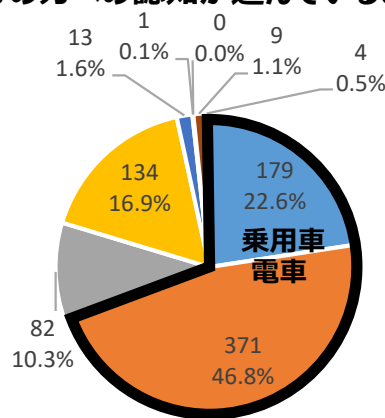
▲令和7年度

【利用交通機関】

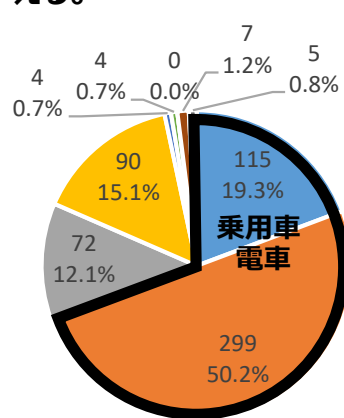
- ・利用交通機関は、**乗用車、電車**が6～7割であり、年々遠方からの来館者が増加している。
- ・居住地の項目と同じく、遠方の方への認知が進んでいるといえる。



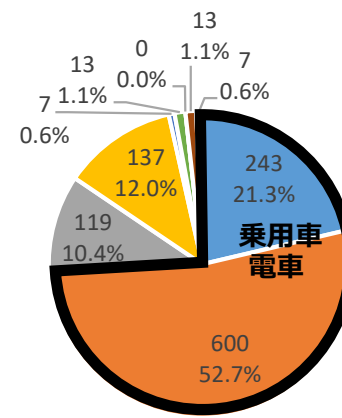
▲令和4年度



▲令和5年度



▲令和6年度



▲令和7年度

■ 電車
■ 乗用車
■ 徒歩
■ 自転車
■ 路線バス
■ 巡回バス
■ タクシー
■ バイク
■ その他

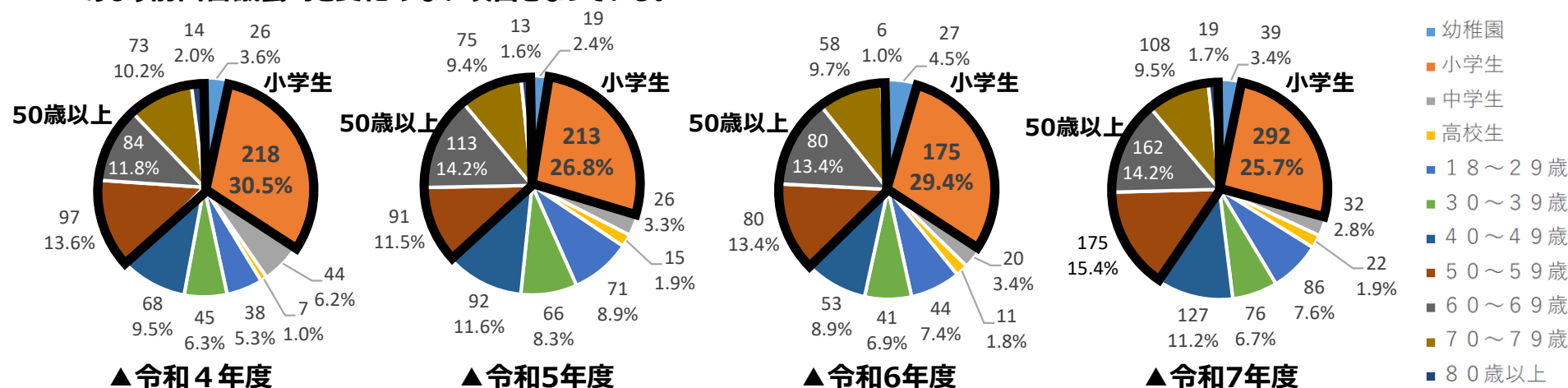
【参考】博物館アンケート結果

■【参考】狭山池博物館全体におけるアンケート調査項目の年度別比較

【年齢層】

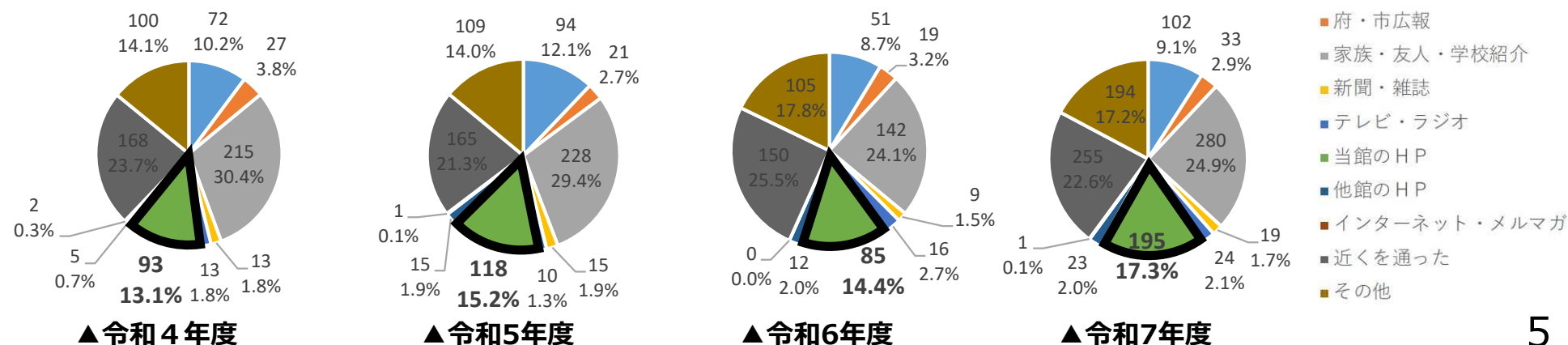
- ・年齢層は、幅広い世代から来館されているが、**小学生が約3割、50歳以上の世代が約4割**と年齢層が両極端
- ・あまり前回審議会時と変化のない項目となっている。

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合



【情報入手方法】

- ・家族・友人・学校紹介、ポスター・チラシが約4割と依然として高い割合を占めているが、**徐々に当館のHPの割合が増加しており、当館の認知が進んでいるものと考えられる。**



【参考】博物館アンケート結果

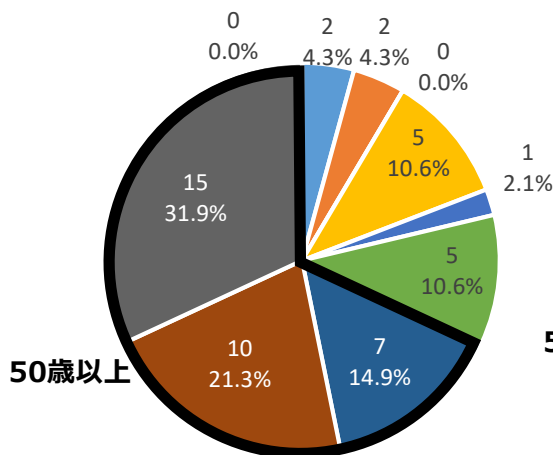
■【参考】特別展などの来館者の年齢構成

- ・田中家文書特別公開と特別展の観覧者の年齢構成を分析すると、50代以上が約 5 ～ 7 割程度を占めており、引き続き分かりやすい展示解説や解説文の文字を大きくするなど、分かりやすい展示解説を行う必要がある。

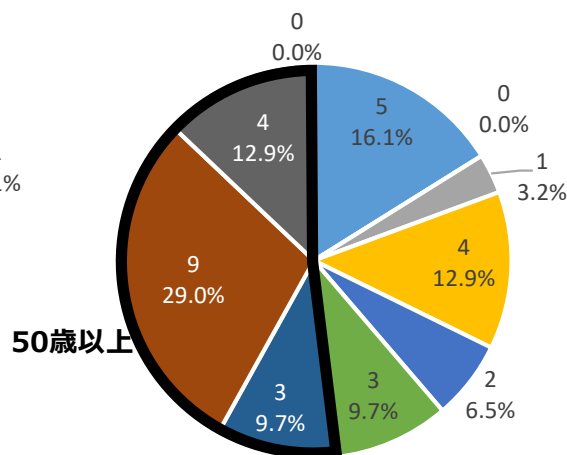
【土木の歴史的価値の継承】

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

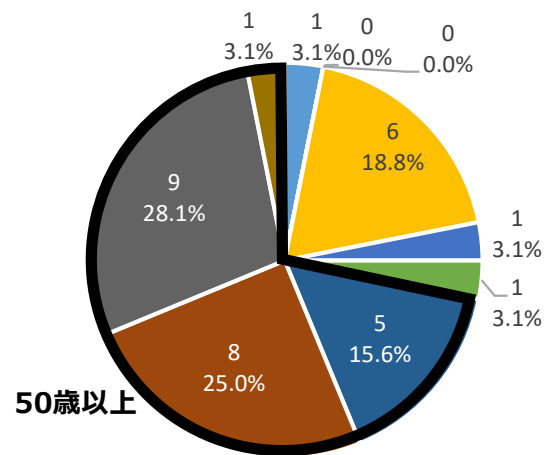
■ 小学生以下
■ 中学生
■ 高校生
■ 18-29
■ 30-39
■ 40-49
■ 50-59
■ 60-69
■ 70-79
■ 80-



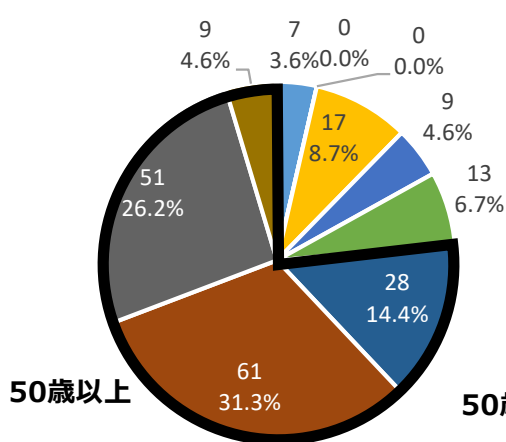
▲ 令和4年度田中家文書特別公開



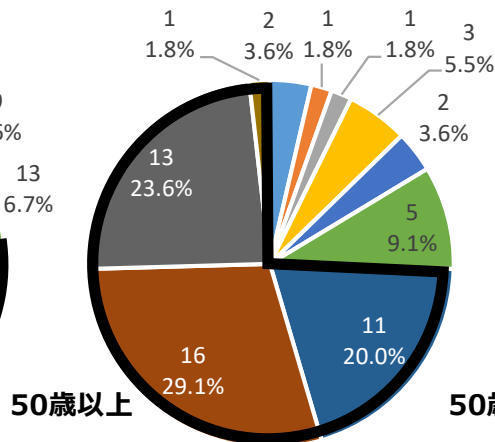
▲ 令和5年度田中家文書特別公開



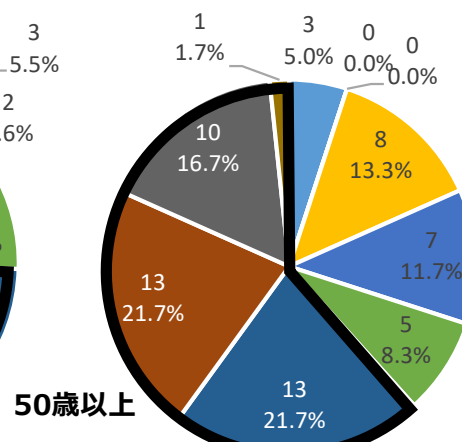
▲ 令和6年度田中家文書特別公開



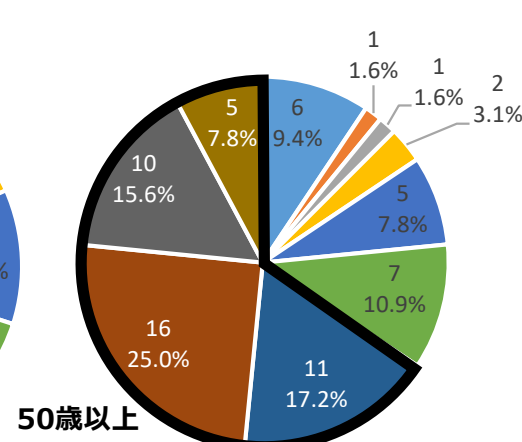
▲ 令和4年度特別展



▲ 令和5年度特別展



▲ 令和6年度特別展



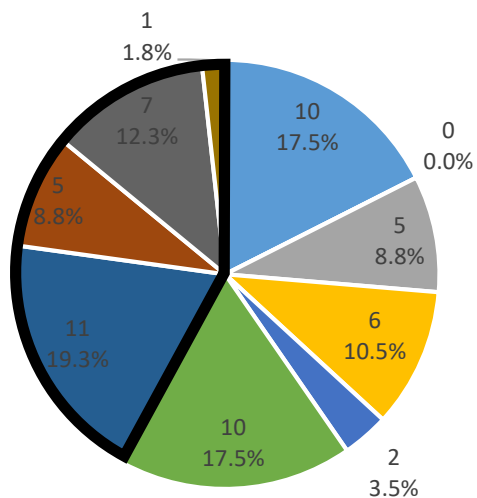
▲ 令和7年度特別展

【参考】博物館アンケート結果

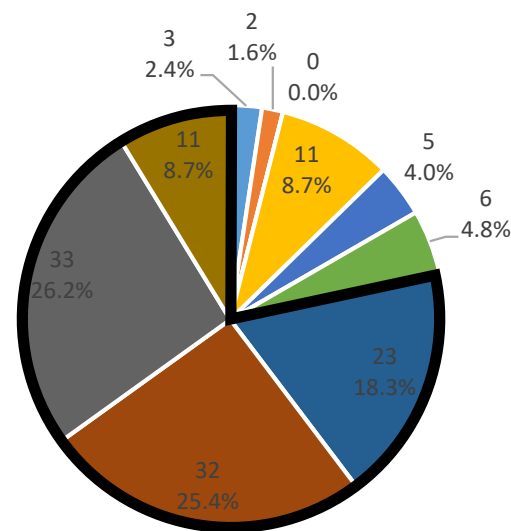
■【参考】特別展などの来館者の年齢構成

- ・土木遺産展の観覧者の年齢構成を比較すると、幅広い世代が土木遺産展を見に来られているが、特に50歳以上の世代の割合が高い。このことから、分かりやすい展示解説や解説文の文字を大きくするなど、分かりやすい展示解説を行う必要がある。

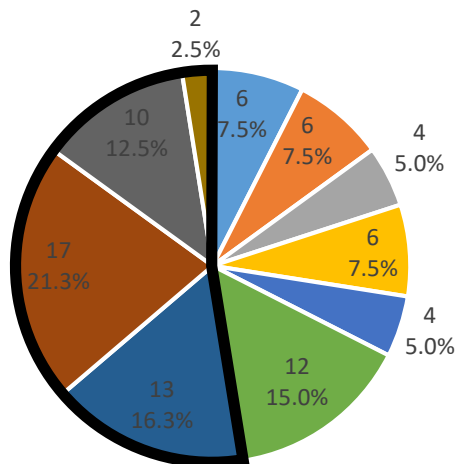
【土木事業・技術の歴史「知」の交流発信拠点



▲令和5年度土木遺産展



▲令和6年度土木遺産展



▲令和7年度土木遺産展

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

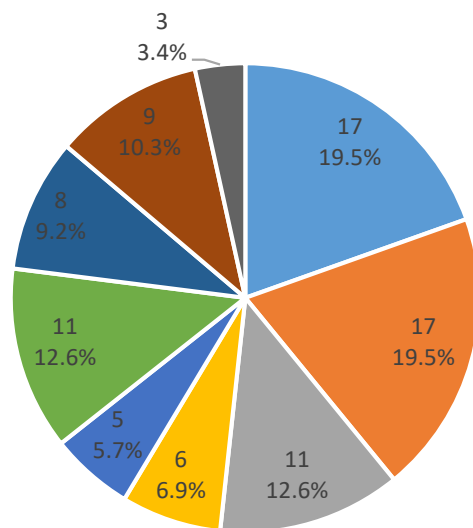
- 小学生以下
- 中学生
- 高校生
- 18-29
- 30-39
- 40-49
- 50-59
- 60-69
- 70-79
- 80-

【参考】博物館アンケート結果

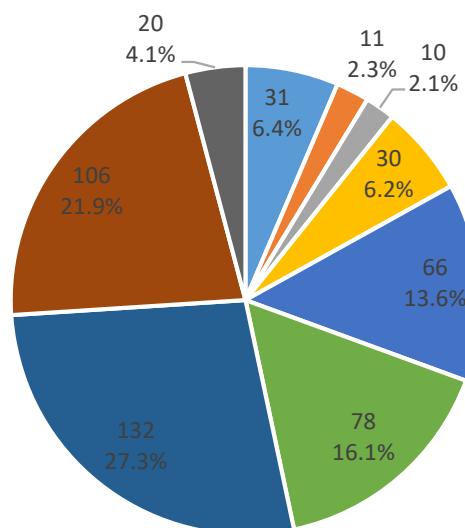
■【参考】特別展などの来館者の年齢構成

展示やイベント内容により年齢層が異なるが、ターゲット層が異なるため妥当な結果である。
今後も幅広いターゲット層に向けた企画の実施が望まれる。

【地域魅力創造】



▲くらしの道具展



▲池底ツアー

【グラフ中の数値】
上段：サンプル数
下段：割合

- 0-9
- 10-19
- 20-29
- 30-39
- 40-49
- 50-59
- 60-69
- 70-79
- 80歳-